

・謹賀新年

平成最後の年は創作四字熟語で「大量発生」「地震暗来」と表現されたように、災害に見舞われた年でした。平成天皇の退位も決まり、元号の改まる年はどうなるのでしょうか？戦争の無い平和な平成を過ごせてよかったと安堵の言葉が天皇挨拶で印象的でした。

さて、足元では今夏「てだこ浦西駅」が運行開始します。ゴルフレンジも姿を消し日々駅周辺の環境変化に心躍らせています。その内、ビル群の立並ぶ新都心に変身します。また、当山小学校の分離新設も一步一步前に進んでいる模様です。子や孫の学校の環境整備は喫緊課題として注視が必要です

本年も宜しく
お願い致します



・成人祝・生年祝 1月12日

年明けは恒例のめでたい行事で始まります。今年の成人対象者は13名です。また、生年祝対象で昭和22年生は42名と最多です。団塊世代の象徴の方々が沢山出席され会を盛上げてほしいものです。



・浦西1号線沿い樹木散髪

黒木が生茂り歩行者にとって歩き辛く、防犯灯の光もさざざっていましたが、年末に剪定が終わり明るい年末年始となります。



行政区住民登録人口(12月末)

世帯数 680 総人口 1726
自治会加入 407 加入率 60%

定期清掃(第3日曜日)
リサイクル活動(同上)

1111 1月行事 1111

* 図書丸来館 13、27日

- 8日 自治公民館講座
- 12日 成人・生年祝
- 13日 浦添市成人式
- 19日 寿 Jr 桜祭りツアー
- 20日 定期清掃
- 20日 三世代交流餅つき大会

班長さん・班員の皆様へ
本年度、総会で会員から要望があり
予算化した隣組(班)懇親会の実施
率が低調です。
3月まで何とか
実施して頂き
たいものです。



・CGG活動・定期清掃・美らまち通り隊活動
16日(日) 全県一斉のCGG活動と定期清掃が

重なり、浦西中の20名の生徒を迎えて地域の清掃、花の苗を植えました。作業終了後はカトレア公園でハンバーガーを食べながら交流しました。児童生徒、若者の存在は地域活性化の源です。今後も、この種の交流を大切にしていきたいものです。



・年末公民館煤払い 大掃除 24日(月)

公民館利用各種団体、青年会、ふれあいサロンのメンバー多数が集まり、感謝の意を込めて公民館の煤払いをしました。フロアのワックス掛け、換気扇等、日頃さわっていない部分まで隈なく磨きあげました。来年もお世話になります。天ぷらで打上!



・12月 評議委員会 16日(日) 午後7時～
協議事項

- 1 成人祝・生年祝の取組
新春三世代交流餅つき大会の取組
- 2 班会の推進(29班中で実施は3班のみ)
- 3 次年度の評議員の推薦依頼(特に女性)

報告事項

- 1 CGG・定期清掃の取組
- 2 村回り組踊り詳細日程
- 3 特定健診の受診率 29年度1位(57.5%)
- 4 とし丸利用者統計 浦西1位(平成27～30年)
- 5 自治公民館講座「クラフトバッグ作り」1月開始



・ふれあいサロン Xmas会 20日(木)

恒例のXmas会を行いました。真昼でしかも冬とは思えない気温でXmasムードには程遠いものでした。しかし、サンタがやってきてプレゼントをもらい、ケーキを食べると一気にXmasモード全開。全員がキャップをかぶり、終始ニコニコで楽しく過ごしました。舞台ではオカリナ、フルート、マンドリン演奏、フラダンス、琉舞等盛りだくさんであっという間に時間が過ぎていきました。



・村回り組踊り「二重敵討」上演 110名鑑賞 12月23日(日) 沖縄の芸能の至宝を鑑賞

昨年11月の「執心鐘入」に続き連続して組踊りを公民館で鑑賞できることはとても嬉しいことです。観客は、素晴らしいクリスマスプレゼントだと言って喜んでいました。主催の浦添市の文化振興化実行委員会に感謝です。今回で12回目の開催ですが2回、しかも連続して開催できた自治会は浦西のみです。組踊りは2010年にユネスコ無形文化遺産に登録された沖縄の宝であり、歌舞伎やミュージカル、オペラ同様、歌と踊りと音楽の3つの要素からなる古典歌劇です。今回は、上演前に組踊りの鑑賞方法の説明があり、字幕を使っておりとても楽しく鑑賞ができました。また、演者と観客の距離が近く臨場感溢れる迫力に満ちたものでした。前座で「四つ竹」を踊って頂いた自治会員、瀬長美佐恵、平識豊子さんにも感謝致します。



・かりゆしセンターちびらーさん祭り 8日(土)

かりゆしセンターで活動しているサークルの方々の作品の展示、及び舞台上で技を披露する場です。様々なサークルがあり、それぞれ目を見張るものがあり生き活きとした演者に拍手が鳴りやみません。浦西中学校区8自治会の中で浦西自治会会員の利用者はダントツです。皆さんも挑戦しませんか？きっと楽しい出会いがあるはずです。



・寿 Jr.ボウリング大会 15日(土)

22名の参加で今年最後のボウリングを楽しみました。2回の平均が200超えのハイレベルの強者もいて、周囲の目をくぎ付けにしていました。「練習は裏切らない」を実証してもらいました。しかし、簡単ではないよね!



・ネパールだより E-53 坂本守章 浦西団地の皆さん、ナマスカル・・・。

「ナヤ バルサコ 2019 スバカムナ(新年あけましておめでとうございます)」
前回の活動期間(2014年6月～2016年3月)の時に計画をしていたエベレスト街道トレッキングがネパール大地震のため中断を余儀なくされました。その念願がかなって11月末から12月初旬にかけて行くことが出来ましたので紹介します。

ネパール政府はヒマラヤ山脈の6,000m以下をトレッキング、6,000m以上を登山と区別して入山許可をしています。一般の人たちは6,000m以下を2週間ほどトレッキングして、自然の雄大さを楽しみます。今回、私がトレッキングしたコースは世界最高峰の「エベレスト(ネパール名:サガルマタ:8,848m)」の登山街道の山歩きです。

標高1,300mのカトマンズの空港から午前7時に出発し、標高2,800mのルクラ空港に移動します。このルクラ空港はヒマラヤ山脈の谷間にあり、滑走路の長さ460m、滑走路の勾配を12%つけて飛行機の停止を行っています。また、空港の南側は渓谷、北側は丘で世界で最も危険な空港と言われ、熟練したパイロットによって運行されているようです。

空港に着いてしばらくすると、私は自分の手の異変に気づきました。なんと、気圧が低いために指が膨れ始めました。この膨れも夕方頃には元の形に戻っていました。着後、荷物を整理しポーターさんへ10kgの荷物を預け、身軽になってから出発しました。

初日は高度順応と体力の温存のため、3時間ほどの短い時間を歩き「バクティン(2,600m)」という町へ下り、山小屋で宿泊しました。宿泊までの山道は多くのトレッキング達や生活調度品を運ぶヤクやロバで賑わっていました。

2日目は本格的な山歩きで、8時間ほど歩き「ナムチェ(3,400m)」という町にたどり着きました。ナムチェに向かう途中から、はるか彼方にエベレストが姿を現しました(写真:左の山)。また、山道周辺の山々は6,000m以上で白雪の山脈の凄さを感じました。宿泊したナムチェは大きなバザールがあり、また、高度順応をするために多くのトレッカーで賑わっています。夕食の時、隣のテーブルで韓国から来た方と話をしましたが、高度順応して5,400mのエベレスト・ベースキャンプ地まで行くとのことでした。(続く)



*リサイクル収益金

12月末実績(累計)
190,258円

毎月第3日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力をお願いします。



ペットのフン
放置しないで



猫たちにエサをやるなら
フンの後始末 不妊・去勢手術もね
目黒区保健所 生活衛生課